

～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

出前公民館事業・講座（岩手県盛岡市）

取組の概要

○沿岸市町村では役所・職員自体が被災し、地域コミュニティの核となるべき公民館では、未だに事業の企画運営などを実施することが非常に困難な状況である。

盛岡市中央公民館は、県内の都市中央公民館長会議の事務局を有し、県内公民館のまとめ役も担っていることから、内陸部から沿岸市町村へ公民館事業・講座を出張して実施し、被災地と内陸部をつなぎ、被災地の地域コミュニティの再生を支援する。



○市町村職員、地域のリーダーや仮設住宅施設のリーダーなどから、希望する事業や講座を盛岡市中央公民館につないでいただき、盛岡市中央公民館で講師や内容などをコーディネートし、希望する市町村で事業や講座実施する。



実施予定事業・講座

◆1. 絵本を介したコミュニケーション・読み合いワークショップ

子どもだけでなく、お年寄りとの読み合いも含め、絵本の選び方から親子、家族、地域のコミュニケーションの取り方を学ぶ。

◆2. 防災教育「防災エンスショー」

東日本大震災の被災地で経験した実体験を生かした講演と実験で今後の防災を提案する。

◆3. 積み木を介したコミュニケーション「楽つみき」

子どもたちがたくさんの積み木を使いながら、集団の中で、目的に向かって考えたり、試したり、新しい知識やアイデアに気づき、友達とのかかわりの中で、新しい自分を発見するなど、「生きるために必要な知恵」を身につける。

◆4. 生涯学習フェスティバル

語りを通じた講演、ワークショップを開催し、家族の絆、地域のつながり・絆を深めるきっかけづくりとする。